

# だっこするよ

平成28年5月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台 1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子



大切にしたいこと・・・「遊び」を通して～

風薫る5月、新緑まぶしい季節がやってきました。地球上の生命が一斉に鮮やかな彩りを放ち、躍動感に溢れます。新芽が膨らみ、若葉が満ち溢れて、山萌える大好きな季節です。

指定管理となり、新しい職員との生活が、ひと月過ぎました。

この間、保護者の皆様が温かく見守って下さり、心より感謝申し上げます。有難うございました。職員間の連携不足から子どもたちにも保護者の皆様にも不安な思いを多々させてしまいました。基本の生活が落ち着くように、子どもたちが安心して通える「昼間のおうち」になれるよう職員一同誠意と愛情をもって保育を進めて参ります。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

4月、玄関で大泣きしていた子どもたちも保育園がどんな所なのか分かってきた様子です。あの人がオムツを替えてくれてお散歩も一緒に行ってくれる人・・・と。担任の声かけににっこり、安心して活動が始まっています。ひよこ組さんも、担任の顔が見えた途端、相手がお掃除していても、熱い視線と満面の笑みを送り、両手を伸ばして朝の抱っこをしてもらっています。幼児組も友だちの名前を呼び合い、「お早う」と挨拶して、担任に「今日は公園行く？」と活動を見通しています。

子どもたちは、たくましいです。周りをよく理解して自分で考えて、その不安な気持ちに、上手に折り合いをつけながら、大人と頑張ろうとしてくれています。保護者の皆さま、どうぞお迎えの時には、「愛しているよ」としっかり目を合わせて、我が子を全身で讃えて抱きしめてあげてください。以前スウェーデン人のパパは玄関からジェスチャーで熱烈に愛を唱えて、周りの私たちが照れるくらい、「愛しているよ」「会いたかったよ」と毎日我が子へ愛情を伝えていらっしゃいました。ぜひ真似したいものです。

一人ひとりの子どもたちと保護者の皆様と心をつないで、安全で安心な「昼間のおうち」を築きたいと思えます。そして、今月から新しく4名のお友だちが入園されます。よろしくお願いいたします。

今、子どもの時代に何を手渡してあげられるか、私は、なによりも豊かな「遊び」を保障することだと思います。保育所保育指針では、「子どもが自発的、意欲的に関わられるような環境の構成と、そこにおける子どもの主体的な活動を大切に、乳幼児にふさわしい体験が得られるように「遊び」を通して保育を行うこと。」と記述されています。つまり、子どもの活動とは「遊び」を通して～行われることが大切です。安心して安全な保育室とそこにいる大人との信頼関係の中で、一人ひとりの子どもたちが主体的に遊びを深められるように、保育環境（子どもが自主的に取り組める道具、空間、時間など）を整えて、大人がモデルを示しながら「遊び」を応援していきます。「遊び」を通して友だちへの関わりもこれから増えてきます。トラブルも全て栄養にして育っていくことでしょう。

連休明けに体調を崩すお子さんもいます。親子で早目の就寝がおすすめです。子どもたちは、今が土台造り・・・五月の空の下、地中深く根を張り、天に向かって枝を大きく伸ばしていくことでしょう。